

平成21年度 新聞記事等一覧 (5月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	5月1日	日本歯科新聞	7面	蚕の糸が「再生医療材料」 東京農工大 朝倉教授に聞く 骨・歯の形成に有用な遺伝子注入	東京農工大学朝倉教授が、絹を再生医療材料に応用する研究を進め、今後、骨や歯の再生の研究も進めていくと紹介。 共生科学技術研究院 朝倉 哲郎 教授
2	5月1日	広報ふちゅう	5面	ひろば 東京農工大学管弦楽団・吹奏楽団合同演奏会「アンサンブルアタック!!」	東京農工大学管弦楽団・吹奏楽団による合同演奏会「アンサンブルアタック!!」の開催案内。 管弦楽団 吹奏楽団
3	5月1日	広報ふちゅう	6面	官公庁から 東京農工大学「プロに学ぶゴルフ初級講座」	東京農工大学公開講座「プロに学ぶゴルフ初級講座」の開催案内。 共生科学技術研究院 百鬼 史訓 教授
4	5月1日	広報ふちゅう	6面	官公庁から 東京農工大学公開講座「健康スポーツ講座～テニス基礎編」	東京農工大学公開講座「健康スポーツ講座～テニス基礎編」の開催案内。 共生科学技術研究院 田中 幸夫 准教授
5	5月1日	日経ものづくり (2009年5月号)	p50～ 57	提言 近未来への指針 次の30年も強さを維持するため 価値ある新技術を生む現場をつくる	東京農工大学三沢教授が、基礎学力の低下にある学生の問題点として、不思議な現象に触れても好奇心につながらないことから、いわゆる『指示待ち社員』になってしまうと解説。 共生科学技術研究院 三沢 和彦 教授
6	5月3日	日本経済新聞	19面	活字の海で 大学出版に軟らか路線 後発組、ユニークさ競う	東京農工大学出版会が昨年発行した『昆虫の知恵』は、見開きごとに必ずイラストが入る軟らかい紙面が特徴で、中学生でも読めるように編集したと出版会花形専務理事のコメントを紹介。 東京農工大学出版会 花形 康正 専務理事
7	5月4日	日刊工業新聞	3面	未来思考 経営戦略50 ビジネスの現場に「ゆとり学」を	東京農工大学林教授が、ビジネスの現場にも「ゆとり学」を導入することを提案。「ゆとり」という言葉は、自らのために余裕を持つとともに、相手やコミュニティーに気を使うという意味合いも含んでいると解説。 技術経営研究科 林 志行 教授
8	5月8日	日刊工業新聞	6面	技術革新の源 “大学、 多様化する産学官連携 特色生かした新たなステージへ	大学改革と前後して始まった産学官連携は、先端的な大学で一緒に仕組みを整備する “第一ステージ、から次の段階に入っており、本学など先進大学では舞台が「国際」に広がっていると紹介。 学長 小畑 秀文 学長
9	5月8日	日刊工業新聞	25面	社会人に理工系高度教育 今年度、15機関が72科目開講 教材・講師など共有	“職業人の高度教養教育、の一環として化学・生物の総合管理の人材を育成する「知の市場」コンソーシアムが本格始動し、早稲田大学は「規範科学総合研究所」を立ち上げた。今後、健康科学の分野で東京農工大学などと連携と紹介。 早稲田大学 竹山 春子 教授 (本学客員教授)
10	5月9日	読売新聞(夕刊)	3面	ラウンジ 農村再生へ妙案は	足利銀行破綻の混乱回避のため設立された地域企業再生ファンド運営会社の初代社長を務めた山崎氏が東京農工大学大学院の農学博士号を取得したと紹介。 農学府 山崎 美代造 氏 (卒業生)
11	5月11日	日刊工業新聞	5面	未来思考 経営戦略51 新型インフルとリスク・アノマリー	東京農工大学林教授が、新型インフルエンザ等の対応で、担当部署が指導力を発揮するのは良いことだが、全体の適合性と、のりしろの確保を期待すると解説。 技術経営研究科 林 志行 教授
12	5月11日	広報ふちゅう	3面	催し 市民ボランティア環境調査 「河原に咲く花の観察会」	東京農工大学星野准教授が、市民ボランティア環境調査「河原に咲く花の観察会」の講師を務めると紹介。 共生科学技術研究院 星野 義延 准教授
13	5月15日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	10面	超薄型スピーカー 超音波、150°ヘルツまで再生 東京農工大 センサー音源に活用	東京農工大学越田特任教授らが人間の耳には聞こえない超音波まで発生する超薄型のスピーカーを開発したと紹介。 工学府 越田 信義 特任教授 (本学名誉教授)
14	5月16日	日本テレビ	テレビ	「所さんの目がテン！大引越しSP！！20年間の秘蔵映像全部みせちゃうぞ祭り」	東京農工大学笹尾副学長がスイカの謎について解説。 副学長 笹尾 彰 副学長

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15	5月18日	日刊工業新聞	4面	未来思考 経営戦略52 アフリカの大地でモノを見る	東京農工大学林教授が、イノベーションへの最初の葛藤をあきらめ、目先の幸せでお茶を濁そうとせず、はるか昔のチャレンジする立場の、半人前でも獲物を前に闘争本能が目覚める瞬間を思い出すことも、時には大切であると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
16	5月18日	SANKEI EXPRESS	26面	From Reader 東京農工大学野生動物研究会 傷病鳥の救護・復帰に取り組む	東京農工大学野生動物研究会が、新しい取り組みの一つとして、東京都の鳥獣保護事業との連携により、傷病鳥の野生復帰に向けたリハビリテーション「リハビリケージプロジェクト」に取り組んでいると紹介。	野生動物研究会 綿貫 宏史朗 氏 藤津 亜希子 氏 北条 友理 氏 石井 宏章 氏 池上 直輝 氏 菊田 美織 氏 清水 佑紀 氏
17	5月21日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	12面	血糖値の高低、音で伝達 東京農工大など開発 濃度に応じ充放電 採血なしで測定も	東京農工大学早出教授が、糖尿病患者向けに採血なしで血糖値の高低を音にして知らせる装置を開発したと紹介。	共生科学技術研究院 早出 広司 教授
18	5月23日	NHK教育テレビ	テレビ	「黒い樹水～自然からの警告～」	東京農工大学伊豆田教授がFM多摩丘陵で行っているイネとコムギに対するオゾンの影響に関する研究などを紹介。	共生科学技術研究院 伊豆田 猛 教授
19	5月25日	日刊工業新聞	5面	未来思考 経営戦略53 新型インフル対策、初動を確実に	東京農工大学林教授が、今回の新型インフルエンザ対応として、マスク装着の条件や製品サービスの提供頻度、待機社員の範囲など、現場の判断に迷いが生じず、初期動作を確実に早くできるようにすることで、リスクの拡大を回避し、トータルコストを制御できると解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
20	5月27日	日本経済新聞	20・21面	理工系教育支援企画 テクノルネサンスジャパン ＜第2回＞企業に研究開発してほしい未来の夢アイデア・コンテスト	東京農工大学が日本経済新聞社が主催する、「テクノルネサンスジャパン」に協力する大学の一つとして紹介。	

追加記事等

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等	
1	4月15日	日本経済新聞	13面	サイエンス 昆虫の力 ロボットに応用 筋肉を動力源に 鋭い嗅覚を再現	東京農工大学森島准教授が虫の筋肉を動力源に使い、液体中で動くロボットの開発に取り組んでいると紹介。	共生科学技術研究院	森島 圭祐 准教授